

令和7年度 沼津市私立幼稚園協会主催 講演会

教育、保育、育児に関わる全ての方に聞いて欲しい子どもたちの現実

作家 石井光太さん講演会 スマホ育児が子どもを壊す

令和7年6月11日

沼津市私立幼稚園協会 会長 後藤信俊

日時：2025年7月4日（金）午後5時～7時

場所：プラサヴェルデ ホールB

〒410-0801 沼津市大手町1-1-4 JR沼津駅北口より徒歩3分

★今回は、多くの方に聞いて頂きたいため、協会員以外の方の参加も募集しています。現在子育て中の保護者の皆様、学校の先生方、保育・教育行政に携わる方などは、下のQRコードからお申し込みください。参加費無料、大人のみ参加（託児無し）
※沼津市私立幼稚園協会、静岡県私立幼稚園振興協会会員の皆様は「ゆたかなまナビ」からお申し込みください。

「なんだか子どもの発達が以前と違う・・・」

目の前の子どもと日々向き合っている保育者の皆さん、学校教育に従事している教員の皆さんはこのような思いを持ったことはありませんか？

石井さんが保育・教育現場を回ってルポされた左の本は、昨年7月に発行されました。拝読して衝撃を受けました。（ぜひAmazonなどのサイトでサンプルを読んでみて下さい！驚きの内容です。）

本書の中で石井さんは「良い面でも悪い面でも幾多のものが激変する社会では、子どもたちが直面する困難は別質のものになる。それが、今の家庭や学校で起きている現象なのだ。」と仰っています。スマホを排除しようということではなく、その影響とその結果生じている現状を知ること。育児や保育、教育はどう対応していったら良いのか、それを考えるきっかけとして、石井光太さんのお話を聞く場を設けました。

★作家：石井光太さん

1977（昭和52）年、東京生れ。日本大学芸術学部文芸学科卒業。国内外の文化、歴史、医療などをテーマに取材、執筆活動を行っている。2021（令和3）年『こどもホスピスの奇跡』で新潮ドキュメント賞を受賞。主な著書に『絶対貧困』『遺体』『「鬼畜」の家―わが子を殺す親たち』『43回の殺意―川崎中1男子生徒殺害事件の深層』『近親殺人―家族が家族を殺すとき』『教育虐待』『ルポ 誰が国語力を殺すのか』などがある。

石井光太さん公式サイト→
<https://www.kotaism.com/>

←定員400名先着順になります。



スマホ登場以来16年、教室にいるのはもはや私たちが知る「子ども」ではなくなっている

2歳児のネット利用率58.8%／子守歌はアプリで聞く赤ちゃん／ハイハイも体育座りもできない園児／ヘッドガードの制服化／先生だってデジタルネイティブ／教室の「圧」に怯える小学生／手をつながずにはいられない男子たち／寝められ中毒はエスカレートする／クラスメイトの姓すら知らない中学生／人と違うのはリスクでしかない／増加するいじめ件数／「将来の夢は交通整理のバイト」と言う女子高生／「魅惑現象」の正体／用途によって違う悪人／会ったその日にベッドインする高校生

デジタルネイティブの育ち方を徹底レポート！



7/4講演会
参加申込は
こちらから

<https://forms.gle/M19QY5pN4b7pyw7X6>

